

つみきばこ

1人1人のデザインが積み重なって新たな風景を生み出す

■人に、合わせる。

1つ7kg程度。持ち運びが容易で、好きな場所に移動させることができる。

■用途に、合わせる。

座ったり、机にしたり、ご飯を食べたり。

色々な用途に合わせて組み替えて使うことができる。

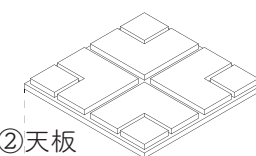
■社会に、合わせる。

コロナ禍から終息後にかけて移り変わる情勢に適応していく。

構成図

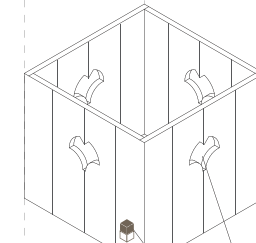
①凹凸面

木材 15mm 厚



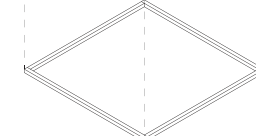
②天板

木材 15mm 厚



③側面材

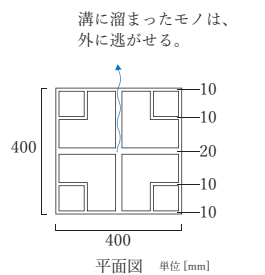
木材 18mm 厚
×4 枚



④スチール脚

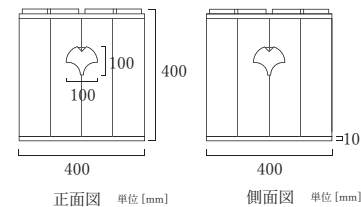
スチール角材 10mm 角
側面材外面合わせ

■座面に施した凹凸の溝加工
角材の脚をはめ込み連結することで、多様な組み合わせが可能に。
深さ 15mm をもたせることで、かみ合わせた時のぐらつきを無くす。



■施工・安全性への強み

側面材には厚さを持たせる。
ブレース材が不要となり、施工が容易に。
また適度な重量をもたせ、耐候性・耐久性を考慮。



■400 角の寸法

1つで椅子に、2つ重ねて机として機能するように 400 角の寸法を決定。



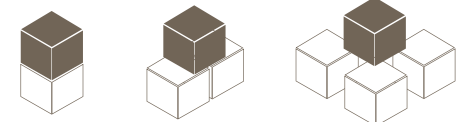
■いちよう型のくり抜き

阪大のモチーフ柄。
指を差し込む取っ手となり、持ち運びやすい。

■使い方を示すロゴ

ベンチのかみ合わせパターンは複数。
組み合わせ方の発見の手がかりとなるロゴを付ける。

ロゴ案)



U2-U3 棟前

センテラスに面した人通りの多い場所に出会いの空間を。



DonDon 前

授業の休憩がてら、心地の良い通り道で佇む。



センテラス前

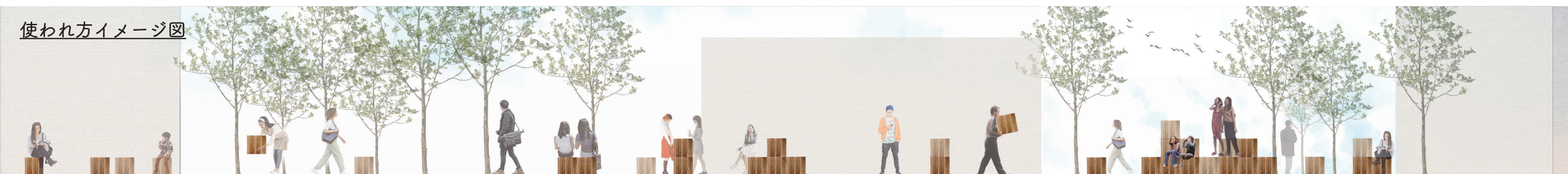
天気の良い日はつみきばこを並べておしゃべりしたり、ごはんを食べたり。



保健センター付近

やがて吹田キャンパスのいたるところにおかれていく。
(本バースの「はこ」は 1/1 模型実施制作)

使われ方イメージ図



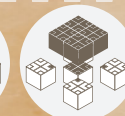
コロナ禍。

ひとりで使う。
空き時間にひとりで勉強・読書タイム。
バスの待ち時間に、コーヒー片手にひとやすみ。
好きな場所に持って行き、自分が好きなひと時をデザインする。



コロナが終息してきたら…

2～3人で使う。
2段に積んだブロックを囲んでランチタイム。
カウンターテーブルのようにも使え、
少人数での居場所をデザインする。



コロナが終息したら。

多人数で使う。
いくつもブロックを繋げて、大勢で会話を楽しむ。
イベントの時、人が集まるステージを作ることができる。
人の集まり方をデザインする。

積み方を工夫して
新しい賑わいの場が
つくられていく…